

7.8 単票印刷

請求書、検針伝票などを、1枚ずつ印刷します。次のような用途に使用できます。

- ・窓口で支払をすませたお客様に、その場で請求兼領収書を発行
- ・引越予定のお客様に、最終検針用の検針伝票を発行
- ・あるお客様に、現在時点の請求書を発行

<使用に当たってのご注意>

本来この機能を使用するには、用紙も1枚ずつになっていなければなりません。従って、連続帳票しか使用できないプリンタで印字することはできません。そのようなプリンタで使用した場合には、2枚目以降の印字位置が合わなくなります。

上の注意は、ESC/Pモードで印字した場合です。レーザープリンタのLIPSモードで印字すれば、もともと用紙が単票ですから、より使い勝手がよくなります。プログラムは、ESC/P用と、LIPS用と用意していますので、機器に合わせてメニューを調整する必要があります。

また、ESC/P用では、専用の印刷用紙を使用して下さい。LIPSでは、フォームオーバーレイで印字するので、白紙で良いですが、最初に書式を決める必要があります。

(1) プログラムの種類

	ESC/P用	LIPS用
検針伝票	HNSKENS N	なし
検針請求書	HNSKENS Y	なし
納品書	HNDNOH I N	HNDLBNHN
請求書	HNSSEI K Y	HNSLBS E I

(2) 機能

(a) 検針伝票

現時点の指針と残高を印字します。今回検針日と指針、ガス料金などは手書きします。

(b) 検針請求書

最新の検針日とそのときの指針、ガス料金、残高を印字します。手書きする部分はありません。一度発行すると、請求済みの状態になるので、再発行はできません。

(c) 納品書

納品する商品を売上傳票入力と同様に入力し、納品書を発行します。発行した時点で、売上処理も完了します。但し、請求済みにはなっていません。

(d) 請求書

現時点で未請求の内容を印字し、請求済みにします。同時に入金を入れることができるので、領収印を使用して、「領収書」とすることも可能です。

(3) 実行方法

(a) 検針伝票



得意先を表示して、印刷を行うかどうか问われます。印刷するならば、

印刷用紙を1枚、給紙して準備する。

を行ってから、印字 = 1 を入力して下さい。

水平インサータ型のプリンタを使用する場合は、1枚を吸い込ませてから、印字可を見て継続して下さい。

レーザープリンタの場合は、給紙場所を確認して続行して下さい。いくつかの給紙が可能な場合 A4用紙がセットされている場所から給紙されます。切取線の入った特殊な用紙を使用するならば、トレイを「A4」でかつ「優先」にして、設定しておくが良いです。